

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 ムサアザ福祉会 児童デイサービスくまのみ			
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 1日 ~ 令和8年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 1日 ~ 令和8年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びや体験を通して子どもの成功体験を大切にした支援	出来るだけ多くの遊びや体験活動を通して一人一人ができることから少しずつチャレンジする事によって自信に常がるような支援	保護者との情報共有を密に行いながら自己肯定感が増やして行けるような取り組みを考えていく
2	こども達が落ち着いて過ごせるような環境作り	一人一人の気持ちに寄り添いながら自分のペースで色々な活動や集団への参加のタイミングを図っていく	こども自身の気持ちの変化を見守りながら職員間での役割を話し合いながらきめ細やかな対応を図っていく
3	保護者との情報共有や相談をしながら細やかな支援	保護者や関係機関と連携を取りながら支援の統一を行う	必要に応じて関係機関との連携の機会を充実を図りながら支援に生かしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会以外での保護者間の交流の機会が少なかった	こども達の年齢年齢の幅広くイベント計画が難しくまた法人イベントへの参加も児童発達の子どものみでの参加で放デイのこともたちは自由参加だったりした為交流の機会が出来ていなかった	法人のイベント等への参加を計画しながら家族で参加しやすい機会を計画していく
2	地位域のこども達との交流の機会があまり作れていなかった	児童の下校時間のばらつきがあり全員そろってからの活動時間が短く、もっぱら公園や図書館・児童館などの公共施設を利用した時などが主になっていた。	出来るだけ公共施設以外でのイベントだけでなくイベント等や児童館の利用も増やしながら地域の子どもの交流の場を計画して行きたいと思います。
3	保護者を対象にした勉強会や研修の機会を作る事が難しかった。	市主催や他の施設主催の講演会の案内の情報提供に限られてしまっていた。	引き続き市や公共施設の応援会等の丈夫を提供しながら、参加しやすい研修会や勉強会などの計画を考えて行く